

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 29 年 9 月 5 日現在

機関番号：12603

研究種目：基盤研究(A) (海外学術調査)

研究期間：2013～2016

課題番号：25257002

研究課題名(和文) 東南アジア・中東に跨るイスラーム・ネットワークの動態に関する学際的研究

研究課題名(英文) Multi-disciplinary Study on Islam network across Middle East and Southeast Asia

研究代表者

床呂 郁哉 (Tokoro, Ikuya)

東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・教授

研究者番号：90272476

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 22,200,000円

研究成果の概要(和文)：本研究計画(以下、本研究と記す)は東南アジアと中東に跨るイスラームを媒介とした人的、社会・文化的ネットワーク(以下、イスラーム・ネットワークと記す)の20世紀後半以降における形成の過程と現在の動向、及びその展開が各地の文化や社会に及ぼす影響などについて、学際的・複眼的な視点から総合的に解明することを目的として、研究期間中に共同研究を実施してきた。この研究の結果として各国におけるイスラーム復興やイスラーム主義の動向が政治や経済に及ぼす影響などについて実地調査に基づく研究を実施した。

研究成果の概要(英文)：This study project has conducted a joint collaborative research on transnational Islamic network across Middle East and Southeast Asia. Especially, we have conducted field research on various impact of transnational Islamic resurgence on public sphere (such as politics, economy etc.) in Southeast Asian countries. More concretely, Ikuya Tokoro has done an intensive field research on impact of Islamic resurgence on so called "Moro" or the Muslim minority community in the Philippines. Hisao Tomizawa and Yuhiko Hukushima have conducted on impact of Islam on economic/ business sphere, including halal industry in Malaysia and other countries. Momo Shioya and Ryouko Nishii have done field research on Dawwa or Islamic resurgence movement and its impact in Indonesia and Thailand.

研究分野：人類学、東南アジア地域研究

キーワード：東南アジア イスラーム フィリピン マレーシア インドネシア タイ トランスナショナル

1. 研究開始当初の背景

イスラームは近年、中東はもとより東南アジアにおいても無視できない社会的・政治的影響力を有している。しかしながら中東と東南アジアに跨るイスラームを媒介とするネットワークの社会的影響に関しては、幾つかの例外を除けば、相対的にまだまだ蓄積が乏しかった。申請中の本研究ではこうした研究動向や社会状況に留意し、狭義の東南アジア研究者に加えて中東アラブ世界やイスラーム思想史の専門家なども加えることで、従来の研究にはない複眼的な視点から東南アジアと中東を結ぶイスラーム・ネットワークの現代的動態を実証的に解明していくことを目指して本研究を実施した。

2. 研究の目的

本研究計画(以下、本研究と記す)は東南アジアと中東に跨るイスラームを媒介とした人的、社会・文化的ネットワーク(以下、イスラーム・ネットワークと記す)の20世紀後半以降における形成の過程と現在の動向、及びその展開が各地の文化や社会に及ぼす影響などについて、学際的・複眼的な視点から総合的に解明することを目的として、研究期間中に共同研究を実施してきた。この研究の結果として各国におけるイスラーム復興やイスラーム主義の動向が政治や経済に及ぼす影響などについて実地調査に基づく研究を実施した。

3. 研究の方法

東南アジア各地でのフィールド調査実施を主な活動内容とし、また東京外国語大学で実施されたワークショップ(研究会)等の機会を利用して調査研究による知見などを共有した。具体的にはインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール等において東南アジアと中東に跨るイスラーム・ネットワークに関する実地調査を行った。その際には現地地の研究機関に属する東南アジア研究者と中東研究者のアドバイスやコメント等も適宜もらいながら、ネットワークの実像をより立体的、総合的に解明することを目指して研究を展開してきた。

4. 研究成果

東南アジアと中東に跨るイスラーム・ネットワークの20世紀後半以降における形成の過程と現在の動向、及びその展開が各地の文化や社会に及ぼす影響などについて、学際的・複眼的な研究知見を得ることができた。その詳細は下記の発表論文や口頭による報告などで発表してきたことに加えて、現在、本科研のメンバーらを中心とする執筆者による英文成果論集の出版のための準備作業を準備中であり、できれば平成29年度中、遅くとも平成30年度末までに出版・刊行することを目指して必要な編集作業等を実施している。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計13件)

- ① TOKORO, Ikuya Peace building in the wild: Thinking about institutions from cases of conflict and peace in Sulu. In: Kawai, Kaori (ed.), *Institutions: The Evolution of Human Sociality*. Kyoto University Press & Trans Pacific Press. pp.197-218. 2017.査読有。
- ② 床呂郁哉 「東南アジア社会における紛争・暴力とその処理」山本信人・宮原暁(編著)、2017、*東南アジア地域研究(第二巻)*、査読有、慶應義塾大学出版会、199-218。
- ③ 床呂郁哉 「フィリピン南部ムスリムの移民/難民状況の動態と「再難民化」」錦田愛子編『移民/難民のシチズンシップ』査読無、2016、有信堂高文社、179-198。
- ④ 床呂郁哉 「ボーダーの形成と越境のダイナミクス—東南アジア海域世界の事例から」『境界・境域への挑戦と「地域」—JCASシンポジウム報告書』(黒木英充・塩谷昌史・柳澤雅之編) 査読無、2016、40-47。
- ⑤ TOKORO, Ikuya Introduction: Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia. TOKORO Ikuya (ed.). *Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia*. pp.1-13, ILCAA.査読有。
- ⑥ TOKORO, Ikuya The Re-emergence of Islam in the Context of Muslim Separatism in the Philippines. TOKORO Ikuya (ed.). *Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia*. pp.153-174, ILCAA.査読有。
- ⑦ 床呂郁哉 「ミンダナオ紛争と平和の行方—スルールの難民の視点から」大阪大学アジア平和構築プロジェクト Asia Peacebuilding Initiatives (ウェブ論文 2015年10月20日掲載開始) 査読無、2015
- ⑧ 塩谷もも 「インドネシアにおけるバティック布の現状とアイデンティティ」『島根県立大学短期大学部松江キャンパス紀要』53号、査読有、2016、51-56
- ⑨ 西井涼子 「人が家で死ぬということ—死のプロセスについての南タイのフィールドからの人類学的実践」『科学と文化をつなぐ—アナロジーという思考様式』(春日直樹編) 査読無、東京大学出版会、2016、158-176
- ⑩ 西井涼子 「『顔』と他者—顔を覆うヴェールの下—ムスリム女性たち」『他者』(河合香吏編) 査読有、京都大学学術出版会、2016、275-294
- ⑪ 富沢寿勇 「食をめぐる異なる価値との共生: グローバル化の中のハラールとローカリティ」『多文化共生研究』2号、査読

無、長崎大学多文化社会学部、2015、275-294

- ⑫ 富沢寿勇「拓け！水産物のハラール市場第3回 インドネシアの魚食文化と市場開拓」『養殖ビジネス』査読無、2014年7月号、59-61
- ⑬ FUKUSHIMA, Yasuhiro Obstruction for Japanese Companies to Enter into Halal Food Market in Southeast Asia. In: Sawai, Sai and Okai(eds.), Islam and Multiculturalism: Expanding Islamic Studies within a Symbiotic Framework, pp.11-29, 2015, Tokyo: Waseda University, 査読無

〔学会発表〕(計 9件)

- ① 床呂郁哉「フィリピン南部におけるムスリム分離主義の現在—ドゥテルテ新政権下におけるミンダナオ紛争と和平プロセスの行方」AA 研共同研究課題「東南アジアのイスラームと文化多様性に関する学際的研究(第二期)」研究会、2016.7.15、東京外国語大学 AA 研
- ② 床呂郁哉「マレーシア・フィリピンから世界を見る—東南アジアの文化多様性なかのイスラーム」長野イスラーム勉強会(板垣雄三東京大学名誉教授代表)招待講演、2015. 12. 15、松本商工会館
- ③ 床呂郁哉「ボーダーの形成と越境のダイナミズム—東南アジア海域世界研究の事例から」地域研究コンソーシアム年次集会、2015. 11. 1、東京外国語大学 AA 研
- ④ 床呂郁哉「東南アジアと中東に跨るイスラーム・ネットワークの動態：概説とイントロダクション」科学研究費基盤(A)「東南アジアと中東に跨るイスラーム・ネットワークの動態に関する学際的研究」(代表：床呂郁哉)成果公開研究会、2015.10.3、鹿児島大学法文学部 2号棟 201号室
- ⑤ 床呂郁哉「フィリピン南部のムスリム分離主義運動におけるイスラームと(エスノ)ナショナリズム—モロ・イスラーム解放戦線(MILF)の活動を中心に」東南アジアのイスラームと文化多様性に関する学際的研究(第二期)研究会、2015.7.5、東京外国語大学 AA 研
- ⑥ 床呂郁哉「グローバル／ローカルを超えて—東南アジア海域世界から見る新たな世界のかたち」、アジア・アフリカ言語文化研究所(以下AA研と記)50周年シンポジウム・パネル講演、2014.10.14、於一ツ橋講堂
- ⑦ Tokoro, Ikuya "The Changing Nature of Cross-Border Migration Flows in Asia", IUAES(国際人類学会)招聘講演、2014.5.16、於幕張メッセ(千葉)

〔図書〕(計 2件)

- ① TOKORO, Ikuya (ed.)2015 *Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia*, ILCAA.298.
- ② 床呂郁哉(編)『人はなぜフィールドに行くのか?—フィールドワークへの誘い』2015、東京外国語大学出版会、302頁

〔産業財産権〕

○出願状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

床呂郁哉 (Tokoro Ikuya)  
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・教授  
研究者番号：90272476

### (2) 研究分担者

西井凉子 (Nishii Ryouko)  
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・教授  
研究者番号：20262214

福島康博 (Fukushima Yasuhiro)  
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・フェロー  
研究者番号：20598908

富沢寿勇 (Tomizawa Hisao)  
静岡県立大学国際関係学部・教授  
研究者番号：70180164

塩谷もも (Shioya Momo)  
島根県立大学短期大学部・准教授

研究者番号： 90456244

(3) 連携研究者 ( )

研究者番号：

(4) 研究協力者 ( )